

特集

納得できる大学選びを支援する 大学ポートレートとは

大学の教育情報の公表と活用を目的として、
2014年度から「大学ポートレート」（仮称）が本格稼働する。
大学が主体的に教育情報を提供し、
統一フォーマットで一般の人々の利用に供するという画期的なしくみだ。
各大学が積極的に参加し、多様で正確な情報が公表されることが期待されている。
一方、高校生が大学選びのために活用するデータベースという観点では、
検討に関わった委員をはじめ、高校・大学の関係者から疑問の声も上がっている。
高校生の視点に立ち、有益なポートレートにしていくことが、
結果的に大学にも大きなメリットをもたらすはずだ。

Betweenが考える「今、求められている大学ポートレート」

高校生による

- 不十分な情報公表による最大の不利益は高校生に
⇒ **P.8**
- 教育の中身を理解せずに志望校を決めてしまう生徒
は進学後の意欲が減退 ⇒ **P.12**

大学の比較、

- 比較を促すためにはデータの加工や見せ方の工夫が
必要 ⇒ **P.14**
- 海外のデータベースでは「満足度」や「成果」の比較
も可能 ⇒ **P.16**

納得できる選択を支援するもの

- 自分との相性を判断できる情報とその根拠があれば、納得して大学を選べる ⇒ **P.4**
- 学部・学科名が同じでも多様な教育方針とカリキュラムがあり、その多様性を伝える情報公表が必要 ⇒ **P.10**
- 「教育力」で大学を選ぶことが納得できる大学選びにつながる ⇒ **P.18**